

【個人】

提出 平成27年8月14日

山 行 報 告 書

山名：剣岳（標高2,999m）		（富山県立山町）		
入山日：平成26年8月2日(日)～3日(月)		日帰り・(1泊2日) 帰宅予定日：8月4日		
プラン担当者 正：田中正 副：				
参加者	L：報：記：田中正			
	男 1名、女 名、計 1名			
最終打合せ： 月 日 ()				
記録	集合時間： 午前 時	集合場所：		
8月2日(日)	大宮(前日)＝東松山 C＝立山 C (4:35)＝立山駅 (6:10)＝美女平 ＝室堂 (7:26)－剣御前小舎 (10:00)－剣山荘 (11:30) (泊)			
8月3日(月)	剣山荘 (3:46)－一服剣 (4:18)－平蔵の頭 (5:52)－劔岳 (6:32 ～7:01)－平蔵の頭 (7:21)－一服剣 (9:03)－剣山荘 (9:25～ 10:10)－剣御前小舎 (11:34)－室堂 (14:00)＝美女平＝立山駅 (15:07)＝宇奈月温泉			
8月4日(火)	宇奈月温泉＝立山 C＝東松山 C＝大宮			
荒天候時のエスケープルート：				
装備と食糧	共同装備：ツエルト ()、			
	個人装備：ヘッドランプ、雨具、防寒衣、コンパス、地図、携帯、ツエルト、ヘルメット 個人食： 1日目昼食、行動食、水			
感想	<p>シーズン真っ盛りとあって、立山ケーブルカー駅は6時の始発を前に大混雑。美女平でバスに乗り換え、室堂に着いたのは7時14分。ここもハイカーだけでなく、多くの観光客で賑わっていた。雷鳥荘付近には、雷鳥の姿もあった。</p> <p>雷鳥平から浄土川を渡り、別山乗越に着いたのは10時。ここから、剣沢を右下に見ながら、いくつかの雪渓を越えて剣山荘に向かった。チングルマ、ミヤマキンバイ、ハクサンイチゲの花が登山道を彩り、鹿島槍など後立山連峰が青空の下、美しい。剣山荘に11時半に到着。後は、明日に備え、ゆっくりと過ごすことにした。</p> <p>いよいよ憧れの劔岳登山だ。3時に起床。支度をし、ヘッドランプを付けて出発。前を行くいくつかの明かりが一服剣を目指して登っていく。20人くらいのツアーの群れが光の線になって後ろに続いている。前剣から本格的な鎖場が現れる。カニのタテパイで渋滞が少しあったが、山頂は10人程度でゆっくりできた。立山、奥大日は目の前、東に鹿島槍、五龍、唐松岳が連なっている。薬師岳が相変わらず美しい。黒部五郎、水晶、鷲羽岳がその横に。槍、富士、笠ヶ岳もそのままの姿で聳えている。至極のひと時を過ごし、来た道を剣山荘に戻った。</p>			